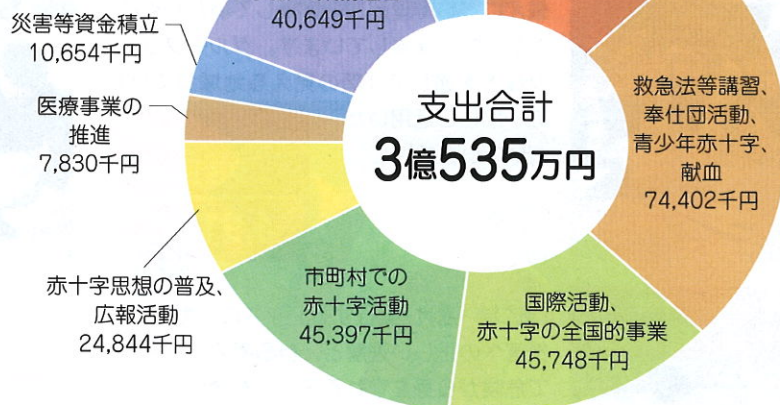
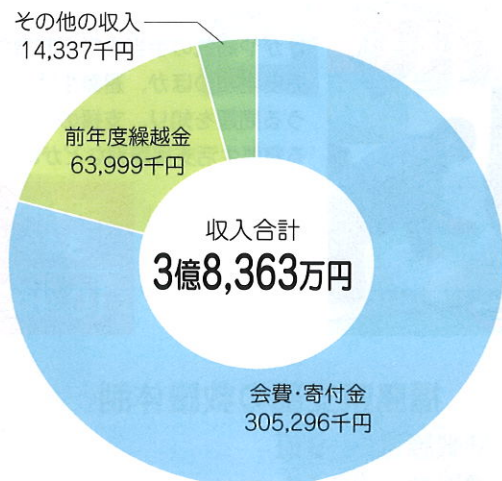


日本赤十字社福島県支部 令和5年度決算報告

活動資金にご支援をいただきました皆さまに改めて感謝申し上げます。



災害義援金 **4,276万360円**

※全額を被災都道府県に設置される義援金配分委員会へお送りいたします。
義援金が日本赤十字社の活動資金や事務経費に使われることは一切ありません。

※赤十字病院、血液センターは施設ごとの会計になっており、この決算には含まれておりません。

日本赤十字社福島県支部は、国や県からの補助金等を受けずに、ご寄付いただいた活動資金で組織を運営し、事業を行っております。

赤十字へのご寄付には税制上の優遇措置があるほか、表彰制度を設けております。

また、遺贈・相続財産のご寄付も承っております。ご案内パンフレットをお送りしておりますので、ご希望の方は組織振興課（☎024-545-7998）までお問い合わせください。



ご協力の
方法は
こちらから

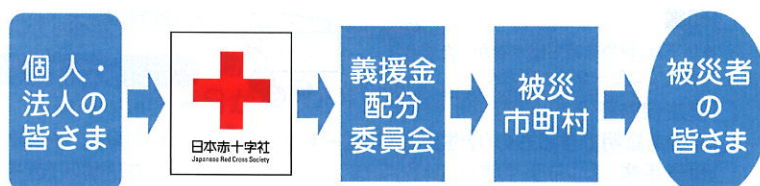
義援金・海外救援金の受付も行っています

令和6年11月現在

- 令和6年能登半島地震災害義援金
- 令和6年7月25日からの大雨災害義援金
- 令和6年9月能登半島大雨災害義援金
- レバノン人道危機救援金
- イスラエル・ガザ人道危機救援金
- ウクライナ人道危機救援金
- アフガニスタン人道危機救援金
- バングラデシュ南部避難民救援金
- 中東人道危機救援金

詳しくはホームページをご覧ください。

「義援金」の流れ



日本赤十字社が受け付けた「義援金」は、被災都道府県に設置される義援金配分委員会に全額送金し、同委員会が定める配分基準に従って被災された皆さまへ届けられます。

何が違うの？

- 活動資金…日赤が行う人道活動のために使われます。
災害で被災した方への医療救護活動や救援物資のほか、防災教育や青少年赤十字（JRC）、救急法の講習などは、活動資金をもとに行われます。
- 義援金…全額被災者に届けられます。
被災都道府県に設置される「義援金配分委員会」に全額を送金し、配分基準に従って被災者へ届けられます。国や自治体が行う復旧事業や、日赤の活動には一切使われません。
- 海外救援金…海外で発生した災害や紛争による被災者を支援するために使われます。
世界各国の赤十字社・赤新月社を通じて、被災地の赤十字社の救援活動・復興支援活動に役立てられます。



2025 年大阪・関西万博に 赤十字パビリオンを出展します！

「国際赤十字・赤新月運動館」として「人間を救うのは、人間だ。～ The Power of Humanity ～」をコンセプトに、体験型のパビリオンを出展いたします。

赤十字パビリオン
外観イメージ



福島県支部の防災・減災の取り組み

防災セミナー



災害からいのちを守るために必要な知識や備えについて理解し、実践していただくことを目的に開催しています。グループワークなどを通じて「顔の見える地域づくり」の一助にご活用いただいています。

令和5年度実績
93回
4,918人

救急法等の講習



けがや病気の手当を学ぶ救急法や幼児安全法のほか、避難生活で起こりうる問題を知り、支援の方法を学べる避難生活支援講習などがあります。

令和5年度実績
349回
10,468人

青少年赤十字 防災教育プログラム



「気づき・考え・実行する」をスローガンに、災害への正しい理解と、自ら考え・判断して危険から身を守る子どもを育成しています。園児から高校生まで、さまざまな教材を提供し、学校教育の中で実施しています。

令和5年度実績
18回
1,568人

福島県支部の救護体制

常備救護班 8班
 救護員数 304人
 赤十字ボランティア 143団 9,595人
 救援物資 毛布・タオルケット・バスタオル
 安眠セット・緊急セット

令和6年3月末現在

講師派遣いたします！

まずはお電話にてお問合せ下さい

一般向け【防災セミナー・救急法等の講習】事業推進課 TEL：024-545-7996

学校向け【青少年赤十字防災教育プログラム】組織振興課 TEL：024-545-7998



防災チェック

災害の「備え」チェックリスト

ご自身の必要なものを考えてみてください

貴重品

- ☐ 現金(小銭を含む) ※公衆電話用に10円玉、100円玉も
- ☐ 印鑑
- ※以下は、現物を持ち出せなかった場合に備えてコピーを入れておく



- ☐ 健康保険証
- ☐ 身分を証明できるもの(学生証、パスポートなど)
- ☐ 母子手帳 ☐ お薬手帳

情報収集用品

- ☐ 携帯電話・充電器
- ☐ 携帯ラジオ・予備電池
- ☐ 家族の写真(はぐれた時の確認用)
- ☐ 家族との災害時の取り決めメモ
- ☐ 筆記用具



食料

- ☐ 非常食
- ☐ 飲料水



便利品

- ☐ ヘルメット
- ☐ 懐中電灯・予備電池
- ☐ 笛やブザー(音を出して知らせるもの)
- ☐ 万能ナイフ ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ マスク ☐ ビニール袋
- ☐ アルミ製保護シート ☐ 毛布
- ☐ スリッパ ☐ 軍手 ☐ マッチ・ライター
- ☐ 給水袋 ☐ 雨具(レインコート、長靴など)
- ☐ 簡易トイレ



清潔・健康のためのもの

- ☐ 救急セット
- ☐ 常備薬・持病薬
- ☐ 予備の眼鏡・コンタクトレンズ
- ☐ タオル
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ 着替え(下着を含む)
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 生理用品
- ☐ 歯みがきセット
- ☐ 消毒できるもの
- ☐ 体温計
- ☐ ビニール手袋
- ☐ 紙おむつ



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

福島県支部

〒960-1197 福島市永井川字北原田17
https://www.jrc.or.jp/chapter/fukushima

《お問合せ先》 平日9:00~17:30

●組織振興課 TEL 024-545-7998

…活動資金・義援金・ボランティア・青少年赤十字について

●事業推進課 TEL 024-545-7996

…講習会・災害救護・海外救援金・国際活動について

●総務課 TEL 024-545-7997

Instagram
やってます!



本紙に対するご意見、ご感想をお待ちしています

